

会 議 記 録			
会議の名称	予算特別委員会（全体会）		会議場所 全員協議会室
			担当職員 鈴木
日 時	令和2年3月10日（火曜日）	開 議	午前 10 時 00 分
		閉 議	午前 10 時 08 分
出席委員	◎福井 ○竹田 長澤 三上 富谷 浅田 大塚 平本 田中 並河 山本 木村 赤坂 三宅 松山 小川 奥野 小松 藤本 木曾 西口 菱田 石野 <齊藤議長>		
執行機関出席者	桂川市長、石野副市長、玉井病院事業管理者、神先教育長、山内市長公室長、浦企画管理部長、柏尾総務部長		
事務局出席者	山内事務局長、井上次長、船越副課長、鈴木議事調査係長、佐藤主任、山末主査		
傍聴	市民0名	報道関係者1名	

会 議 の 概 要

10:00

1 開議

- ・委員長あいさつ
〔福井委員長 あいさつ〕

- ・議長あいさつ
<齊藤議長>

来年度は亀岡市のターゲットイヤーとされており、交流人口増等について積極的な予算編成となっている。市民にとって真に必要な予算であるかを念頭におき、より詳細な審査をお願いしたい。予算は最も重要な案件であり、執行機関の説明を聞き十分に質疑を行い、論点を明確にし、議論を尽くしていただきたい。

- ・日程説明
〔事務局長 日程、審査説明〕

2 予算審査

- 〔市長等 入室〕

10:04

- ・市長 あいさつ
<桂川市長>

新年度は、かめおか新時代のキックオフとなる年度であることから、かめおかネクストステージへのさらなる飛躍につなげるターゲットイヤー予算として、財政状況に細心の注意を払いながら、好機を逸することなく、本市の持つポテンシャルを最大限に生かした予算編成を行ったところである。特に、子育て・教育で憧れのまちを目指し、子どもの室内での遊び場整備や、保育所、小中学校の施設整備をはじめ、次代を担う子どもたちの育みを全力でサポートするた

め、外国語指導助手の増員や友好・姉妹都市への教育プログラムの実施など、未来を見据えたグローバル人材育成に向けた事業を実施するほか、保育士確保のための奨励事業の創設や、中学校昼食において、経済的に困窮している家庭への費用支援、そして、子どもの貧困対策にも取り組み、ソフト面とハード面の双方から、きめ細かな施策により、子どもの教育環境や子どもを生き育てる環境づくりを推進することとしている。また、まちの新たな魅力の発信として、京都スタジアムの完成によるまちの活性化、大河ドラマ館の運営と光秀まつりの充実など、光秀公のまち亀岡を推進する。東京2020オリンピック・パラリンピック開催におけるホストタウン事業や、聖火リレーの実施によるにぎわいの創出など、ターゲットイヤーとして、亀岡の強みや魅力を生かしたまちづくりを目指す予算を計上した。亀岡新時代の基礎となる世界に誇れる環境先進都市を目指した施策として、プラスチックごみゼロに向け、環境調査や環境学習の推進をはじめ、マイバッグ普及のための取り組み、埋立ごみ減少のための中間処理事業の実施など、亀岡の地から地球全体の課題に全力でアクションを起こしていくこととしている。これらの財源については、引き続き税収の100億円超が見込めたことや、ふるさと寄附金を財源とする基金繰入金を有効に活用する等、特定財源の確保も図った上で、持続可能な財政運営を考慮した範囲で財政調整基金を活用しているところである。令和2年度は、亀岡市が新たなステージに歩みを進める重要な1年であると考えており、さらに積極果敢に市政運営にまい進していく。

<福井委員長>

限られた日程の中での円滑な委員会審査の充実を図るため、簡潔で適切な説明、適確な答弁をお願いします。

分科会の開議時刻は10時20分とする。

以上で、本日の予算特別委員会全体会を散会する。

散会 10:08